

26年度まで6人の方(延べ10件)が利用し、出産2人、妊娠中の方が2人と成果が上がっており、平成27年度は1回の助成額を15万円に増額することを検討している。

■6次産業化・新振興作物栽培推進事業

平成25年度から町の新たな振興作物として「にんにく」の作付けを開始。収穫されたにんにくを用いて、生産組合ペルサルにてより6次化商品「黒にんにく」の開発が行われ、9月から販売を開始した。その後、直売所を中心に順調な売れ行きとなっている。



■農用地集積・基盤整備事業

現在、浮金地区において、「人・農地プラン(地域農業マスタープラン)」の策

定作業を進めており、担い手への農地の集積を進めている。

そのほか、基盤整備促進のための説明会を各地区で開催。

また農地の草刈りや水路の掘り上げなど、日頃の農作業で実施されている農地や農業用施設の維持・補修作業などが今年度から創設された「多面的機能支払交付金事業」の対象になることから、広く事業の普及促進を図るために説明会を開催した。

■屋根付き運動場の整備

子供たちがのびのびと運動する機会を提供するため、小野公園内の既存のテニスコート1面を利用して屋根付き運動場(屋内運動施設)を整備する。26年度は地質調査業務と実施設計業務を委託。27年度中に施設の完成を予定している。

■学力向上対策事業

児童生徒の学力向上のため、小中学校での土曜授業、中学生の課外授業(夏季休業期間中)、英語、漢字、数学検定の検定料助成を実施。

め、小中学校での土曜授業、中学生の課外授業(夏季休業期間中)、英語、漢字、数学検定の検定料助成を実施。

■公立小野町地方総合病院

建設中だった新病院が完成し、3月1日開院、3月3日外来診療開始となる。なお2月15日に病院内覧会を実施した。

■笑顔と活気が溢れる町「小野町元気発信パレード」の実施

小学生を中心に町民が一体となったパレードを実施し、安全・安心で災害のない、笑顔と活気に溢れる、元気な小野町を町内外にPRした。

■小野中学校消防クラブの結成

中学生を対象に少年消防クラブを組織し、若い世代から防災活動に参加させ、防災意識の定着を図った。

■こまち女性消防隊の結成

日常生活で一番身近な家庭から、防災指導や応急手当の普及活動、火災予防活動など、地域に密着した活動を展開し、女性ならではのきめ細やかな対応により幅広い年齢の方に防火防災の普及を行うために結成。

■右支夏井川河川改修事業(上流工区)

稲荷橋から役場裏までの区間、約1キロメートルの河川改修工事を実施。事業期間は10年間。26年度は町内4地区で河川改修事業説明会を開催したほか、家屋が移転となる方を対象に個別訪問を行い、意見などを伺った。

今後、代替地を希望する移転対象者の方に対し、町で代替地のあっせんを行うほか、一部、町が用地を取得して分譲住宅地を整備する。

県中建設事務所では、家屋の物件調査を進めており、26年度は最初の工事(河

川の暫定掘削工事)を行う本町行政区を中心に、物件調査を実施した。

■時報曲更新

平成26年10月1日から、故丘灯至夫氏が作詞した曲を正午、午後5時、午後9時の時報曲として放送することとした。

■第四次小野町振興計画後期基本計画の策定

平成26年度から平成30年度を計画期間とする第四次小野町振興計画後期基本計画を平成26年3月に策定した。

■小野町過疎地域自立促進計画の策定

平成26年4月1日「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律」の施行に伴い町が過疎地域に指定されたことを受け、小野町過疎地域自立促進計画を策定した。